

様式第3の2 (第8条関係)

事業計画書

(くすのき補助金)

<p>事業の目的 現状の課題 市民（地域）のニーズ 必要性</p>	<p>国は2012年に16.6パーセントつまり6人にひとりの子どもが貧困状態にあると発表しました。豊橋にも支援を必要とする子どもがいると思います。過去1年以上の子ども食堂実施経験から、この活動は家庭、学校以外の第3の居場所提供という市民（地域）のニーズにも合っていると思います。毎回50食が30食以内になり、食料提供のニーズを充分と考へず。これからも今まで通り参加条件を限定せずに、食事の提供を続けて行く事をこの事業の目的と致します。</p>				
<p>事業内容</p>	<p>主要内容 実効性</p>	<p>毎月1回子ども食堂の開催を知らせるビラを作成し、飯村校区市民館周辺区域で会員5～6名で配布しております。 毎月最終日曜日の子ども食堂開催日には、約50名分のカレーライス調理し、提供しております。</p>			
<p>スケジュール 実効性</p>		<p>予定日</p>	<p>予定内容</p>	<p>予定会場</p>	<p>参加者数見込</p>
<p>実施体制① (実施メンバー) 実効性</p>	<p>「豊橋子ども食堂*なかよし」の会員10名 協力：ニューライフフジ西口店、尾道ラーメン麵喰・井上さん</p>				
<p>実施体制② (団体の特性) 専門性</p>	<p>1年余りの活動実績によりある程度、知名度も上がり、豊橋市内で新たに子ども食堂を開設する所も出て来ました。</p>				
<p>目新しさ エクス 先駆性</p>	<p>当子ども食堂が開始された当時(2016年8月)においては、豊橋市内では初めての取り組みであったと自負しております。 食事提供以外の活動として昨年よりお茶会、ワークショップ、ゲームコーナー 新たに、スタッフと共に手作りお菓子作りを予定しています。</p>				
<p>市民（地域）への効果 公益性</p>	<p>地域住民が月に1度、食事を共にして語り合う場へと発展させることにより、地域の子ども、お年寄りの方々を地域の人々が見守るという気運に繋がればよいと考えます。</p>				
<p>今後の取組 継続性</p>	<p>行政サービスの一環として市が主体的に取り組まれる事を要望しつつ、旭校区の取り組みに続き、他の地域でも同様の活動が開始される事を期待し今後共私達の活動を継続して参ります。</p>				